

地域ネットワークニュース

～平成25年4月の勉強会のお知らせ & 3月の勉強会報告～

第183回 地域ネットワーク勉強会

2ヶ月
連続講座

4月25日(木)

午後7時～午後9時
神栖市保健・福祉会館内
参加費無料

発達障害のある子の理解と支援【前編】

『発達障害とは～自閉症スペクトラムを中心に～』

講師：茨城県発達障害者支援センター 大野真裕氏（センター長／臨床心理士）

みんなに一齐に指示を出したときに従えない、指示された言葉を理解することが十分に出来ない、年齢相応のコミュニケーションが成立しない、一人だけ飛び出してしまう、みんなと別のことをしている、あるいは固まってしまう、順番が待てないなど、子どもが幼稚園や保育園といった集団の中で生活するときに初めて「あれっ？」と気づく行動があります。

こういった行動があるからといってすべてが「発達障害」とは限りませんが、発達障害とは何かを知り、その支援方法を学ぶことで子育てや保育のヒントにつながります。

そこで今回の勉強会では、自閉症スペクトラムを中心とした発達障害の基礎知識と支援の基本的な考え方についてお話頂きます。

なお、後編（5月21日開催予定）では、個々の発達を客観的に評価する発達検査の種類と検査結果の活用法についての講演を予定しています。

保育者や教諭、子育て支援関係者、保護者等子どもに関わる方々の参加をお待ちしております。

（前編・後編いずれか片方だけの講座への参加もできます。）

※事前申し込みが必要です。別紙申込書もしくは電話にてお申し込み下さい。

申込・問い合わせ先：神栖市社協 地域福祉推進センター 担当：三浦 電話 0299-93-0294

第182回 地域ネットワーク勉強会報告

3月18日開催（参加者28名）



グループホームってどんなところ？

～障害者の暮らしとそのサポート～

講師：中核地域生活支援センター「海匠ネットワーク」

障害者グループホーム等支援ワーカー 英 一馬氏

千葉県障害者グループホーム等支援事業連絡協議会が、地域の方に障害者グループホームについて知って頂くために制作した『暮らしを拓く』というDVDの上映から始まった勉強会。

DVDでも描かれていましたが、障害者と街中でなにげなく関わることによって、偏見や不安な気持ちに変化が生まれ、時には誰よりも頼りがいのある地域の支援者・良き理解者となってくれることがあります。

実際に、海匠地域でもグループホームの開設にあたっては、不動産屋さんとの話し合いに難色を示されたり、近隣住民に迷惑がられたり多くの困難があったようですが、最近では不動産屋さんの理解も深まり、グループホーム用の住宅としてアパート等を気兼ねなく提供して下さるようになってきている、とのことでした。また、3.11の震災時もグループホームの近所の人たちがいち早くホームの利用者に声をかけてくれ、一緒に避難してくれた、とのエピソードを語ってくれました。

グループホームは『地域の中の普通の暮らしの場』であることが何よりも重要であることを、グループホームの新規開設の支援や利用者支援の経験から伝えてくださいました。